

#### 過去3年間の出題傾向

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 令和4年問題1 | 錯誤取消し、94条2項類推適用           |
| 令和4年問題2 | 贈与契約、賃貸借契約（債務不履行解除）       |
| 令和3年問題1 | 177条の第三者                  |
| 令和3年問題2 | 賃貸借契約（債務不履行解除、賃貸人たる地位の移転） |
| 令和2年問題1 | 表見代理（110条）、詐欺取消し前の第三者     |
| 令和2年問題2 | 敷金の返還時期、合意解除と転借人          |

傾向1：①改正により条文化されたものへの当てはめ問題＋②従来からの重要論点

傾向2：改正部分には該当するものの、内容変更が少ない部分からの出題

傾向3：小問の一つは、馴染みのないところから出題

改正部分ではあるものの、実質的な変更が少ないもの

- ・ 錯誤取消し（令和4年出題）
- ・ 表見代理、無権代理人の責任
- ・ 消滅時効の起算点
- ・ 遺産分割と登記
- ・ 債権者代位権
- ◎・ 債権譲渡（譲渡制限特約）
- ▲・ 手付
- ・ 賃貸人たる地位の移転（令和3年出題）
- ・ 賃借権に基づく妨害排除請求（返還請求）
- ・ 合意解除と転借人（令和元年出題）
- △・ 賃貸借の終了、敷金

改正により大きく変わった部分

- ・ 詐害行為取消権
- ・ 危険負担と解除
- ・ 売買、請負の契約不適合

従来からの重要論点

- ▲・ 取得時効と登記
- ・ 抵当権の効力の及ぶ範囲
- ◎・ 抵当権侵害
- △・ 不当利得